

自己評価報告書(最終報告)

報告者

臨床心理士養成コース／栗
飯原 良造

■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 教員養成大学教員としての授業実践

中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申したが（平成24年8月28日）、その中で「教員を高度専門職業人として明確に位置付ける」と提言している。この答申の考え方を実現するため、教員養成大学に籍を置く教員として、将来、教師を目指す学生に対してどのような授業実践を展開すればよいか。あなたの取り組みを、①授業内容、②授業方法、③成績評価の三つの観点から示してほしい。

1. 目標・計画

- ① いわゆるグレーゾーンの児や診断されていない発達障害児、診断された発達障害児等の問題行動を見立てに従って対応策を立てる。また、その保護者との連携をカウンセリングのスキルを使って図る。
- ② カウンセリング理論・技法を学ぶ、具体的事例に結び付けて知識と実践とを結ぶ。
- ③ 実技または具体的事例に対する対応を求める記述試験を取り入れた成績評価を行う。

2. 点検・評価

- ① 鳴門市と協力して幼稚園、保育所を巡回しグレーゾーンおよび未診断児の問題行動に対する援助を行い、3歳児健診から支援につないでいる。海陽町と協力して、1歳半、3歳、4・5歳児健診を行いグレーゾーンおよび未診断児の問題行動に対する援助を行った。
- ② 正規の授業および課外授業で模擬面接を通して実践した。
- ③ 前期授業「臨床心理面接研究Ⅱ」において、実技試験を全員に行った。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ①公開講座を鳴門教育大学だけでなく、東みよし町と共催して、発達障害児への対応等を普及させる。
- ②保育カウンセラーとして、カウンセリングやコンサルテーションを行う。
- ③牟岐町、海陽町、東みよし町の乳幼児健診、4・5歳児健診にかかわり、育児支援、発達障害児支援にかかわる。
- ④鳴門市の1歳6か月健診、3歳児健診にかかわる。5歳児健診の準備として保育所・幼稚園への巡回相談にかかわる。また、新版K式発達検査を実施する場を大学院生に月1回、保護者対応の実践場面の体験を提供する。
- ⑤鳴門市板東ゆたか保育園での実習を大学院生に提供する。
- ⑥NPO法人育児支援センター「スキップ」で、カウンセリングを行う。
- ⑦保育所、小中学校での講演、公共機関等主催のカウンセリング研修会の講師を務める。
- ⑧心身健康センターのカウンセラーを務める。
- ⑨本学心理・教育相談室相談員を務める。

2. 点検・評価

- ①公開講座を鳴門教育大学で2回、東みよし町で2回行った。
- ②毎月1回ずつ2か所で実施した。
- ③④⑤⑥予定通り実施できた。
- ⑦鳴門教育大学教育支援講師・アドバイザー等の派遣により、講師を4回務めた。
- ⑧⑨予定通り実施した。

Ⅱ-2. 研究

1. 目標・計画

- ①長谷川式述部記録法を集大成する。
- ②面接技法、面接技術の習得を促すワーク、学習法を実践し、学会誌に投稿できるようにまとめる。
- ③かかわった乳幼児健診について検討して、学会誌に投稿できるように検討する。
- ④解決志向アプローチを和風アレンジして、学会雑誌に投稿する。
- ⑤保育所、幼稚園、小中学校および家庭へのアウトリーチの方法を検討する。

2. 点検・評価

- ①②予定通りデータを収集中である。
- ③本年度日本心理臨床学会でポスター発表を共同で行った。
- ④予定通りデータを収集中である。
- ⑤本年度、保育所・幼稚園で約40か所、小中学校で7か所にアウトリーチを行った。

Ⅱ－3. 大学運営

1. 目標・計画

- ①衛生委員会委員として、本学の安全性と健康増進に寄与する。
- ②就職委員会委員として教員採用試験対策等に寄与する。
- ③大学院受験者を増やすために、学外でのアピールをする。
- ④本学大学、大学院入試にかかわる。
- ⑤心身健康センターのカウンセラーとして学生・職員のカウンセリングを行う。
- ⑥セクシャルハラスメント相談員として、セクシャルハラスメントの相談を行う。

2. 点検・評価

- ①衛生委員会委員として、本学の安全性と健康増進に寄与した。
- ②就職委員会委員として教員採用試験対策等に寄与した。
- ③大学院受験者を増やすために、学外でのアピールを講演活動10回の中で行った。
- ④本学大学、大学院入試にかかわった。
- ⑤心身健康センターのカウンセラーとして学生・職員のカウンセリング業務についた。
- ⑥セクシャルハラスメント相談員として、セクシャルハラスメントの相談業務についた。

Ⅱ－4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ①日本小児心身医学会中国四国地方会の幹事を務める。
- ②定期的にカウンセリング研修会を開き、一般社会人や学生にカウンセリングを普及させる。
- ③本学教育支援講師・アドバイザー等派遣事業に継続して講師登録を行う。
- ④徳島県教育委員会のスクールカウンセラーを務める。
- ⑤徳島県教育委員会のスクールプロフェッサーを務め、要請に応じて学校支援にかかわる。
- ⑥徳島県総合教育センター特別支援のハートケアマネージャーを務め、要請に応じて相談を行う。
- ⑦徳島県警察少年課の少年サポートアドバイザーを務める。

2. 点検・評価

- ①日本小児心身医学会中国四国地方会の幹事を務めた。
- ②定期的にカウンセリング研修会を開き、一般社会人や学生にカウンセリングを普及に努めた。
- ③本学教育支援講師・アドバイザー等派遣事業に継続して講師登録を行い、4回講師を務めた。
- ④徳島県教育委員会のスクールカウンセラーを務めた。
- ⑤徳島県教育委員会のスクールプロフェッサーを務め、要請に応じて学校支援を行った。
- ⑥徳島県総合教育センター特別支援のハートケアマネージャーを務め、要請に応じて相談を行った。
- ⑦徳島県警察少年課の少年サポートアドバイザーを務めた。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)